

赤十字防災セミナー実施要項

東日本大震災等の災害を契機として、改めて地域における防災についての関心が高まっています。

日本赤十字社は赤十字防災セミナーを通じて、地域の「自助」と「共助」の力を高めることで、地域住民の方々自らが、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指しています。

- 1 対 象 地域住民（自治会、町内会等）
- 2 内 容
依頼団体の希望に応じて、下記内容から組み合わせて実施
 - （１）日本赤十字社の災害救護活動について
 - （２）災害への備え
 - （３）避難所での生活について
 - （４）ロープワーク
 - （５）毛布を使った搬送
 - （６）炊飯袋（ハイゼックス袋）を用いた非常炊き出し
 - （７）災害図上訓練D I G
※地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険個所の把握・理解し、個人や地域であらかじめ行うべきことを検討する。
 - （８）災害エスノグラフィー
※大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を迫体験することで被災の具体的なイメージをする
 - （９）その他（救急法など）
- 3 講習時間 依頼団体の希望に応じる。
- 4 受講人数 20人～50人程度
- 5 会 場 依頼団体の指定する会場
- 6 指 導 者 日本赤十字社職員及び赤十字ボランティア
- 7 教材費等
無料。ただし、非常炊き出しを希望する場合は、各地区分区に整備されている炊き出し釜を使用し、お米、容器及びプロパンガスは依頼団体（参加者）が準備する。
- 8 申込方法
依頼団体は、別紙様式により開催日の1ヶ月前までに日本赤十字社大分県支部または各地区分区（市町村）の赤十字窓口に申込書を提出